

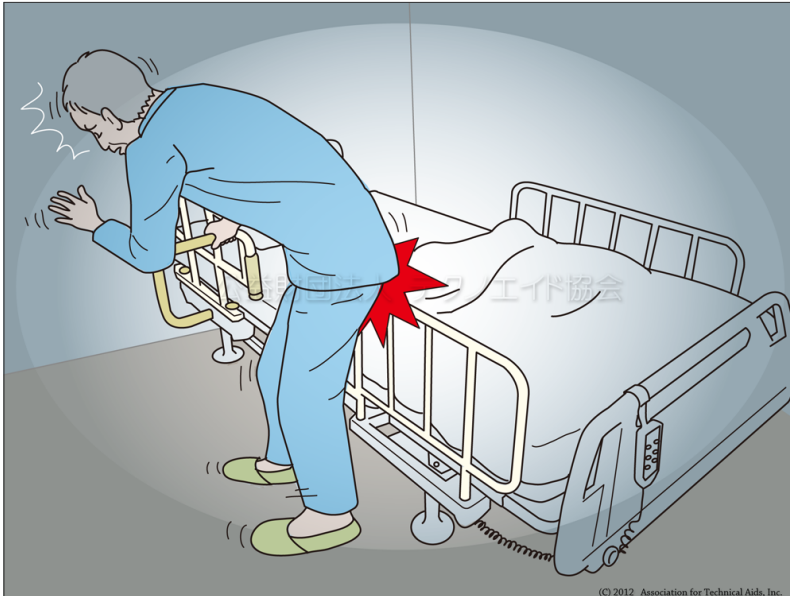
福祉用具ヒヤリハット情報

Case : 44

ベッドの柵（サイドレール）に臀部をぶつけ、転倒しそうになる

場面の説明

夜間、利用者がベッドに戻って腰掛けようとした際に、誤ってベッドの柵（サイドレール）に接触した



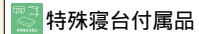
利用シーン



主な利用場所



介護保険の種目



分類コード (CCTA95)

181227(ベッド用サイドレール、
ベッド固定式起き上がり手すり)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

視力の状態によっては昼間でも起こりえる事例です。利用者に注意を促すことも必要ですが、ベッドの柵（サイドレール）の長さを変更するなどの対応を検討しましょう。

参考要因

モノ：夜間だとベッドの柵（サイドレール）が認識しづらい
環境：フットライトなどの照明をつけていなかった